



BlueXP Workload Factory for Builders ドキュメント

Builders workloads

NetApp
January 03, 2025

目次

BlueXP Workload Factory for Buildersドキュメント	1
リリースノート	2
ビルダー向けBlueXP ワークロードファクトリーの最新情報	2
ビルダー向けBlueXP ワークロードファクトリーの既知の制限事項	2
開始する	3
ビルダー向けBlueXP ワークロードファクトリーの詳細	3
ビルダーのクイックスタート	5
ビルダーの要件	6
ビルダーとPerforceの統合	6
ビルダーワークロードの使用	8
ビルダープロジェクトの管理	8
ビルダーワークスペースの作成	10
CodeboxでBuildersタスクを自動化	11
知識とサポート	12
BlueXP Workload Factory for Buildersのサポートに登録	12
ビルダーに関するヘルプ	14
BlueXP Workload Factory for Buildersに関する法的通知	20
著作権	20
商標	20
特許	20
プライバシーポリシー	20
オープンソース	20

BlueXP Workload Factory for Builders ドキュメント

リリースノート

ビルダー向けBlueXP ワークロードファクトリーの最新情報

Workload FactoryのBuilders機能の最新情報をご確認ください。

2024年12月1日

ビルダーワークロードの初回リリース

BlueXP Workload Factory for Buildersは、ソフトウェアバージョンの消費とアクセスを簡素化し、カスタムツールやスクリプトの必要性を排除します。ソフトウェアバージョンをPerforce Helix Coreと統合されたインスタントクローンとして使用し、開発プロセスに便利なワークスペースとして使用できるため、時間とリソースを節約できます。

初期リリースには、プロジェクトとワークスペースを管理し、Codeboxを使用してアクションを自動化する機能が含まれています。また、BuildersとPerforce Helix Coreを統合することで、プロジェクトごとに異なるバージョンを管理し、すばやく切り替えることができます。

ビルダー向けBlueXP ワークロードファクトリーの既知の制限事項

このリリースの製品でサポートされていない、または正しく相互運用できないプラットフォーム、デバイス、または機能については、既知の制限事項が記載されています。これらの制限事項をよく確認してください。

オペレータの権限が必要です

BlueXP Workload Factory for Buildersを正しく機能させるには、オペレータ権限が必要です。

開始する

ビルダー向けBlueXP ワークロードファクトリーの詳細

BlueXP Workload Factory for Buildersは、ソフトウェアビルダー向けの迅速なビルド環境作成ツールです。個人用の開発環境の迅速なセットアップが可能になり、開発者が時間を節約してセルフサービスを利用できるようになると同時に、DevOpsチームがインフラの管理を維持できるようになります。Buildersを使用すると、ソフトウェア開発者は、専用のデータストレージや開発インフラストラクチャの理解を必要とせずに、ワークスペースをすばやく作成できます。

ビルダーのためのBlueXP ワークロードファクトリーとは何ですか？

BlueXP Workload Factory for Buildersは、開発者がソフトウェアのさまざまなバージョンを管理および操作する方法を合理化するように設計されています。ビルダーはPerforce Helix Coreとシームレスに統合して、ソフトウェアバージョンのクローンを瞬時に作成し、開発、QA、CI/CDプロセス用のすぐに使用できるワークスペースを作成します。

Buildersを使用すると、プロジェクトを簡単に作成し、ソフトウェア環境とその成果物を表すボリュームを割り当てることができます。ソフトウェアを更新すると、ボリュームのスナップショットを作成して、その時点のソフトウェアの状態をキャプチャできます。つまり、バージョン管理システムと再同期することなく、ソフトウェアのどのバージョンにも瞬時にアクセスできるため、貴重な時間とリソースを節約できます。

ONTAPのスナップショット機能とクローン機能を活用することで、Buildersは開発ワークフローを強化し、ソフトウェアの複数バージョンへの迅速なアクセスを可能にし、開発サイクルを短縮し、市場投入までの時間を短縮します。

ワークロードファクトリーの詳細については、を参照して["ワークロードファクトリーの概要"](#)ください。

ビルダー向けBlueXP ワークロードファクトリー機能

BlueXP Workload Factory for Buildersには、次の機能があります。

- プロジェクトの作成、編集、削除
- 定義済みのソフトウェアバージョンのスナップショットを作成する
- ワークスペースの作成と削除（クローンに基づく）
- アクセスポリシーを作成してプロジェクトへのアクセスを制御する
- 各プロジェクトの容量使用状況を分析する
- プロジェクトごとにクローンのサイズ制限とクローンの保持期間を制御する
- Perforceなどのバージョン管理システムと統合

ビルダーのプロジェクトとワークスペース

ビルダーを使用する場合は、プロジェクトを作成し、ソフトウェア環境とそのアーティファクトを表すボリュームを割り当てます。ソフトウェアの新しいバージョンを作成するたびに、ボリュームデータを再同期し、プロジェクトSnapshotを作成してボリュームの状態を既知のバージョンとしてマークする必要があります。プ

プロジェクトのソースボリュームにローリング更新が適用され、複数のバージョンをマークするためのSnapshotが複数存在する場合があります。各スナップショットは、開発者、QA、またはビルドプロセスが利用できる専用または共有の編集可能なリポジトリであるインスタントクローンとしてすぐに使用できます。特定のソフトウェアバージョンのコンテキスト内のクローンは、ワークスペースです。

Workload Factoryの動作モード

`basic`、`_read_and_automate_`という3つの運用モードでは、ワークロード工場の内外に導入するための柔軟なオプションが提供されます。ワークロードファクトリの外部で使用するコードスニペットを使用して、ゼロトラストのIN_BASIC_MODEですぐに価値を得ることができます。`_read_and_automate_modes`で増分値を取得します。

詳細については、をご覧ください "[Workload Factoryの動作モード](#)"。

Workload Factory Codeboxによる自動化

Workload Factoryでは、`_Codebox_`を使用した自動化が組み込まれています。Codeboxには、次のような自動化の利点があります。

- コードスニペットの生成：IAC（Infrastructure as Code）スニペットはリソース作成時に生成されるため、既存のオーケストレーションワークフローとシームレスに統合できます。
- コードとしてのインフラコパイロット:コードボックスは、開発者とDevOpsがワークロードファクトリでサポートされているすべての操作を実行するためのコードを生成するのを支援するコードとしてのインフラストラクチャ（IAC）コパイロットです。
- コードビューアと自動化カタログ:コードボックスは、自動化の迅速な分析のためのコードビューアと、将来の迅速な再利用のための自動化カタログを提供します。

コスト

ワークロードファクトリのビルダー機能を使用するためのコストはありません。

ライセンス

ワークロードファクトリのビルダー機能を使用するために、NetAppから特別なライセンスは必要ありません。

サポートされている地域

ビルダーは、FSx for ONTAPがサポートされるすべての商用地域でサポートされます。 "[サポート対象のAmazon リージョンを表示します。](#)"

次のAWSリージョンはサポートされません。

- 中国
- GovCloud (US) リージョン
- シークレットクラウド
- トップシークレットクラウド

サポートを受ける

Amazon FSx for NetApp ONTAP は、AWSファーストパーティの解決策です。FSx for ONTAPファイルシステム、インフラ、または本サービスを使用する解決策に関する質問やテクニカルサポートの問題については、AWS管理コンソールのサポートセンターを使用してAWSに対するサポートケースをオープンしてください。「FSX for ONTAP」サービスと該当するカテゴリを選択します。AWS サポートケースの作成に必要な残りの情報を指定します。

ワークロードファクトリまたはワークロードファクトリのアプリケーションとサービスに関する一般的な質問については、[を参照してください](#)"ワークロード工場のビルダーのサポート"。

ビルダーのクイックスタート

Buildersプロジェクトの作成を開始します。管理者とチームリーダーは、ビルダーを使用して、開発者チームのプロジェクトとワークスペースを管理できます。

1

ワークロードファクトリへのログイン

のいずれかを使用してログインする ["コンソールエクスペリエンス"](#)必要があります ["ワークロードファクトリでアカウントを設定する"](#)。

2

AWSのクレデンシャルと権限をアカウントに追加する

AWSアカウントにアクセスするためのクレデンシャルを追加することなく、_Basic_modeでワークロードファクトリを使用できます。AWSクレデンシャルを_Read_or_automate_modeでWorkload Factoryに追加すると、FSx for ONTAPファイルシステムの作成と管理、Buildersプロジェクトの導入と管理に必要な権限がWorkload Factoryアカウントに付与されます。

["クレデンシャルと権限を追加する方法"](#)です。

3

ビルダーの要件を満たすように環境をセットアップする

NFS共有として設定されたボリュームを少なくとも1つ含むFSx for ONTAPファイルシステムが導入および検出されている必要があります。

["ビルダー要件の詳細"](#)です。

4

他のサービスとの統合

Workload Factory REST APIを使用して、ビルダーをサービスポータルやPerforce Helix Coreなどの他のサービスと統合します。

["ビルダーとPerforceを統合する方法"](#)です。

次のステップ

これにより、コードとアーティファクトの迅速かつ効率的な管理を開発チームに提供できるようになりました ["プロジェクトの作成"](#)。

ビルダーの要件

BuildersにBlueXP ワークロードファクトリを使用する前に、ワークロードファクトリとAWSが適切に設定されていることを確認してください。これには、AWSのログインクレデンシャル、導入されたFSx for ONTAPファイルシステムなどが含まれます。

ワークロードの工場出荷時のログインとアカウント

のいずれかを使用してログインする ["コンソールエクスペリエンス"](#)必要があります ["ワークロードファクトリでアカウントを設定する"](#)。

AWS のクレデンシャルと権限

AWSクレデンシャルをAutomate権限でWorkload Factoryに追加する必要があります。つまり、Buildersの `_automate_mode`でWorkload Factoryを使用することになります。

現時点では、`_basic_mode`および`_read_mode`権限はサポートされていません。 <https://docs.netapp.com/us-en/workload-setup-admin/add-credentials.html>["ワークロードファクトリにAWSクレデンシャルを追加する方法を確認"]

FSx for ONTAPファイルシステム

少なくとも1つのFSx for ONTAPファイルシステムが必要です。

- ファイルシステムは、作成したプロジェクトとワークスペースを保存するためにビルダーによって使用されます。

このFSx for ONTAPファイルシステムでは、FlexVolボリュームを使用する必要があります。FlexGroupボリュームはサポートされません。

- AWS FSx for ONTAPファイルシステムが配置されているAWSリージョン、VPC、サブネットを把握しておく必要があります。
- 次の構成のファイルシステムに少なくとも1つのボリュームが必要です。
 - ボリュームがNFS共有として設定されている必要があります。
 - ファイルシステムにリンクが設定されている必要があります。 ["リンクの詳細"](#)です。
- この導入に含まれるAWSリソースに適用するタグのキーと値のペアを検討する必要があります（オプション）。

["FSx for ONTAPファイルシステムの導入と管理の方法をご確認ください"](#)

ビルダーとPerforceの統合

BuildersとPerforce Helix Visual Client (P4V)を統合すると、開発者はPerforce CLIを使用してワークスペースを管理できます。これにより、開発者はプロジェクトとワークスペースをすばやく切り替えることができ、開発中の時間を節約できます。

手順

- をダウンロードします ["P4V統合ファイル"](#)。
- P4Vを開き、* [Tools > Manage Tools > HTML Tabs](#) *に移動します。

3. [HTMLタブのインポート]*を選択します。
4. P4V統合XMLファイルを選択し、*インポート*を選択します。
5. >[ワークロードファクトリ]*の順に選択します。

結果

Builders Web UIのBlueXP ワークロードファクトリは、P4Vクライアント内にHTMLタブとして表示されま
す。

次の手順

"[移行アドバイザーを使用してAmazon EC2導入計画を作成](#)"です。

ビルダーワークロードの使用

ビルダープロジェクトの管理

Buildersプロジェクトを管理して、Builders用BlueXP ワークロードファクトリの各プロジェクトのコードとアーティファクトの管理方法を制御できます。

プロジェクトを作成します

新しいBuildersプロジェクトを作成して、コードやアーティファクトにAmazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムのデータ保護機能を活用できます。

手順

1. いずれかを使用してワークロードファクトリにログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
2. ビルダータイトルで、***プロジェクトの作成***を選択します。
3. [プロジェクトの作成]ページで、次の項目を指定します。
 - a. プロジェクト名:プロジェクトの名前を入力します。
 - b. 説明:プロジェクトの説明を入力します。
 - c. *** Filesystem ***: 次の情報を指定します。
 - i. クレデンシャル: 使用するAmazon AWSクレデンシャルを選択します。ビルダーはこれらのクレデンシャルを使用して、このプロジェクトで使用できるFSx for ONTAPファイルシステムを検出し、プロジェクトのクローンやスナップショットを作成します。
 - ii. リージョン: このFSx for ONTAPファイルシステムが配置されているリージョンを選択します。
 - iii. *** FSx for ONTAPファイルシステム***: このプロジェクトで使用するFSx for ONTAPファイルシステムを選択します。

選択できるのは、リンクが設定されているファイルシステムだけです。 ["リンクの詳細"](#)です。
 - iv. ボリュームを選択: プロジェクトを保存するボリュームを選択します。Buildersはこのボリュームをソフトウェアリポジトリとして使用します。

選択できるのは、NFS共有として設定されているボリュームだけです。
 - d. オペレーションポリシー:プロジェクトクローンの制限を指定します。
 - i. 最大保持日数: クローンを保持する最大日数を入力します。この日数が経過すると、ワークロードファクトリによってクローンが削除されます。
 - ii. ユーザまたはグループあたりのクローンの最大数: ユーザまたはグループに対してプロビジョニングできるクローンの最大数を入力します。
 - iii. 最大クローンサイズ (**GiB**): プロジェクトクローンの最大サイズをGiB単位で入力します。
 - e. アクセスポリシー:特定のユーザーまたはグループにプロジェクトアクセス権を明示的に付与します。
 - i. ポリシー適用範囲: 単一のIPアドレスまたはIPアドレス範囲を入力して、プロジェクトアクセスをそれらのIPアドレスまたは範囲に限定します。

例： 172.16.0.0/24

- ii. ユーザーまたはグループの識別子：ユーザーまたはグループの識別子を入力して、プロジェクトへのアクセスをそれらのユーザーまたはグループのみに制限します。

例： User1234

4. 「* Create *」を選択します。

結果

プロジェクトが作成され、[プロジェクト]ページのプロジェクトのリストに表示されます。

既存のプロジェクトの表示

ビルダーのBlueXP ワークロードファクトリで作成された既存のプロジェクトを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. いずれかを使用してワークロードファクトリにログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. ビルダータイトルで、*プロジェクトページに移動*を選択します。
3. [プロジェクト]ページにリストされている既存のプロジェクトを表示します。

プロジェクトの編集

プロジェクトの設定はいつでも編集できます。

手順

1. いずれかを使用してワークロードファクトリにログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. ビルダータイトルで、*プロジェクトページに移動*を選択します。
3. [プロジェクト]ページで、編集するプロジェクトのを選択します...
4. プロジェクト構成に必要な変更を加えます。
5. [保存 (Save)]を選択します。

手順

1. いずれかを使用してワークロードファクトリにログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. ビルダータイトルで、*プロジェクトページに移動*を選択します。
3. [プロジェクト]ページで、スナップショットを作成するプロジェクトのを選択します...
4. 表示されたメニューで*[Create a snapshot]*を選択します。
5. ダイアログで、スナップショットの名前を選択し、[作成]*を選択します。

プロジェクトのワークスペースを表示する

プロジェクトのクローンまたはスナップショットはワークスペースと呼ばれます。作成したワークスペースは、プロジェクトの操作ポリシーで許可されている限り保持されます。プロジェクトの既存のワークスペースを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. いずれかを使用してワークロードファクトリにログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
2. ビルダータイトルで、[*プロジェクトページに移動*](#)を選択します。
3. [プロジェクト]ページでプロジェクトを選択し、[*\[表示\]*](#)を選択します。
4. このプロジェクトのすべてのワークスペースのステータスと詳細を表示します。
5. ワークスペースのアラートまたは警告が表示されている場合は、アラートまたは警告アイコンにカーソルを合わせると、その理由が表示されます。

プロジェクトの削除

不要になったプロジェクトを削除するには、次の手順を実行します。

手順

1. いずれかを使用してワークロードファクトリにログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
2. ビルダータイトルで、[*プロジェクトページに移動*](#)を選択します。
3. [プロジェクト]ページで、削除するプロジェクトのを選択します [...](#)。
4. 「[* 削除](#)」を選択します。
5. 確認ダイアログで[*\[削除\]*](#)を選択します。

結果

プロジェクトが削除され、プロジェクトに関連付けられているコードやアーティファクトがボリュームから削除されます。プロジェクトのスナップショットとクローンは保持されます。

ビルダーワークスペースの作成

BuildersのBlueXP ワークロードファクトリのワークスペースは、特定の時点におけるプロジェクトをPerforceで表現したものです。ワークスペースは、プロジェクトスナップショットをベースとして作成されます。ビルダープロジェクト内に新しいワークスペースを作成できます。ワークスペースはPerforce UIから作成できます。

開始する前に

BuildersとPerforce Helix Visual Clientが統合されていることを確認します。詳細については、[を参照してください "ビルダーとPerforceの統合"](#)。

手順

1. Perforceにログインします。
2. Perforceメニューで、[\[表示\]>*\[WF\]](#)を選択します。

Workload Factoryのログイン画面がPerforce UIに表示されます。

3. いずれかを使用してワークロードファクトリにログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
4. [\[ワークスペースの作成\]*](#)を選択します。
5. [\[ワークスペースプロジェクトの作成\]](#)ページで、次の項目を指定します。

- a. ワークスペースのベースとして使用するスナップショットを選択します。
 - b. ワークスペースの名前を入力します。
 - c. 必要に応じて、ワークスペースを要求するユーザーIDを入力します。この識別子は、このワークスペースを使用する開発者のPerforceユーザーIDと一致する必要があります。
6. 「* Create *」を選択します。

結果

ワークスペースが作成され、[ワークスペース]ページのワークスペースのリストに表示されます。

CodeboxでBuildersタスクを自動化

Codeboxを使用すると、プロジェクトの作成とデータ保護の操作を自動化できます。Codeboxは、コードとしてのインフラストラクチャ（IAC）のコパイロットであり、ワークロードファクトリでサポートされているすべての操作を実行するためのコードを生成するのに役立ちます。

詳細とその使用方法については、こちらをご覧ください ["コードボックス自動化"](#) ください。

知識とサポート

BlueXP Workload Factory for Buildersのサポートに登録

NetAppテクニカルサポートでサポートケースをオープンする前に、NetAppサポートサイトのアカウントをワークロード工場に追加し、サポートに登録する必要があります。

BlueXP ワークロードファクトリおよびそのストレージソリューションとサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、サポート登録が必要です。BlueXP コンソールからサポートに登録する必要があります。このコンソールは、ワークロードファクトリとは別のWebベースのコンソールです。

サポートに登録しても、クラウドプロバイダのファイルサービスでNetAppのサポートは有効になりません。クラウドプロバイダのファイルサービス、そのインフラ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカルサポートについては、その製品のワークロードファクトリドキュメントの「困ったときは」を参照してください。

["Amazon FSx for ONTAP"](#)

サポート登録の概要

アカウントIDサポートサブスクリプション（BlueXPの[Support Resources]ページに記載されている20桁の960xxxxxxxxxシリアル番号）を登録すると、単一のサポートサブスクリプションIDとして機能します。各BlueXPアカウントレベルのサポート契約が登録されている必要があります。

登録すると、サポートチケットのオープンやケースの自動生成などの機能が有効になります。登録を完了するには、以下の手順でNetApp Support Site（NSS）アカウントをBlueXPに追加してください。

NetAppサポートのアカウントに登録する

サポートに登録してサポート利用資格をアクティブ化するには、アカウントの1人のユーザがNetAppサポートサイトのアカウントをBlueXPログインに関連付ける必要があります。ネットアップサポートへの登録方法は、NetApp Support Site（NSS）アカウントがあるかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存のお客様

NSSアカウントをお持ちのネットアップのお客様は、BlueXPからサポートに登録するだけで済みます。

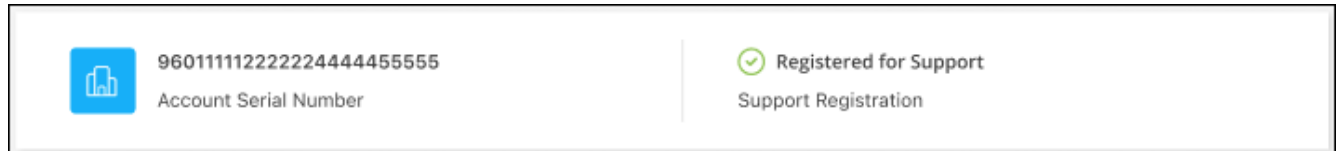
手順

1. Workload Factory Consoleの右上で、*[ヘルプ]>[サポート]*を選択します。

このオプションを選択すると、BlueXPコンソールの新しいブラウザタブが開き、サポートダッシュボードがロードされます。

2. BlueXPコンソールの右上で、[設定]アイコンを選択し、*[クレデンシャル]*を選択します。
3. [ユーザクレデンシャル]*を選択します。
4. [NSSクレデンシャルの追加]*を選択し、NetApp Support Site（NSS）認証プロンプトに従います。
5. 登録プロセスが正常に完了したことを確認するには、[ヘルプ]アイコンを選択し、*[サポート]*を選択します。

[リソース]ページに、アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。



他のBlueXPユーザにNetApp Support Siteアカウントが関連付けられていない場合、このサポート登録ステータスは表示されません。ただし、BlueXPアカウントがサポートに登録されていないわけではありません。アカウント内の1人のユーザがこれらの手順を実行している限り、アカウントは登録されています。

NSSアカウントを持たない既存のお客様

NetAppの既存のお客様で、ライセンスとシリアル番号は_NO_NSSアカウントしかお持ちでない場合は、NSSアカウントを作成してBlueXPログインに関連付ける必要があります。

手順

1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetApp Support Site ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザレベルを選択してください。通常は*ネットアップのお客様/エンドユーザ*がこれに該当します。
 - b. 必ず、上記のシリアル番号フィールドに使用されているBlueXPアカウントのシリアル番号(960xxxx)をコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. の手順を実行して、新しいNSSアカウントをBlueXPログインに関連付けます [NSSアカウントをお持ちの既存のお客様](#)。

ネットアップのソリューションを初めて導入する場合は

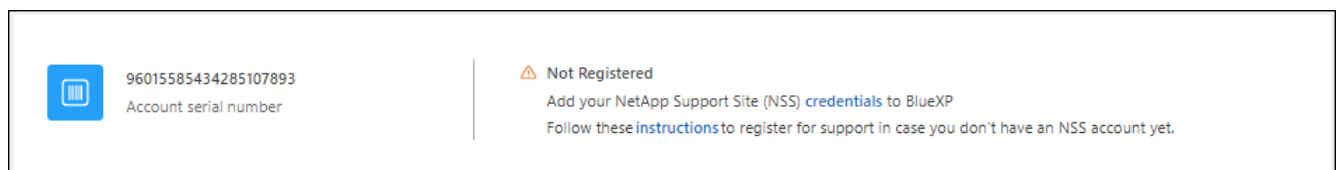
ネットアップ製品を初めてご利用になり、NSSアカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. Workload Factory Consoleの右上で、*[ヘルプ]>[サポート]*を選択します。

このオプションを選択すると、BlueXPコンソールの新しいブラウザタブが開き、サポートダッシュボードがロードされます。

2. [Support Resources]ページでアカウントIDのシリアル番号を確認します。



メニューのスクリーンショット。サポートは最初に表示されるオプションです"]

3. [I am not a registered NetApp Customer]に移動して "[ネットアップサポート登録サイト](#)" 選択します。
4. 必須フィールドに入力します（赤いアスタリスクのフィールド）。
5. [製品ライン（Product Line）]フィールドで、[Cloud Manager *]を選択し、該当する課金プロバイダーを

選択します。

- 上記の手順2からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティチェックを完了して、ネットアップのグローバルデータプライバシーポリシーを確認します。

この安全なトランザクションを完了するために、メールボックスに電子メールがすぐに送信されます。確認メールが数分で届かない場合は、必ずスパムフォルダを確認してください。

- Eメールからアクションを確認します。

確認ではネットアップにリクエストが送信され、NetApp Support Site アカウントを作成することを推奨します。

- NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetApp Support Site ユーザー登録フォーム](#)"
 - 適切なユーザーレベルを選択してください。通常は*ネットアップのお客様/エンドユーザ*がこれに該当します。
 - シリアル番号フィールドには、上記のアカウントのシリアル番号（960xxxx）を必ずコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。

終了後

このプロセスについては、ネットアップからご連絡ください。これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、の手順を実行してアカウントをBlueXPログインに関連付けます。 [NSSアカウントをお持ちの既存のお客様](#)

ビルダーに関するヘルプ

NetAppは、BlueXP ワークロードファクトリとそのクラウドサービスをさまざまな方法でサポートしています。ナレッジベース（KB）記事やコミュニティフォーラムなど、24時間365日利用可能な幅広いセルフサポートオプションをご用意しています。サポート登録には、Web チケット処理によるリモートテクニカルサポートが含まれます。

FSx for ONTAPのサポートを利用する

FSx for ONTAP、そのインフラ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカルサポートについては、その製品のワークロード工場のドキュメントで「困ったときは」を参照してください。

["Amazon FSx for ONTAP"](#)

Workload Factoryおよびそのストレージソリューションおよびサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、以下に説明するサポートオプションを使用してください。

セルフサポートオプションを使用します

次のオプションは、1日24時間、週7日間無料でご利用いただけます。

- ドキュメント

現在表示しているワークロードファクトリのドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

ワークロードファクトリナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけてください。

- ["コミュニティ"](#)

Workload Factoryコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

ネットアップサポートと一緒にケースを作成します

上記のセルフサポートオプションに加え、サポートを有効にしたあとで問題が発生した場合は、ネットアップサポートの担当者と相談して解決できます。

始める前に

[Create a Case]*機能を使用するには、最初にサポートに登録する必要があります。NetAppサポートサイトのクレデンシャルをワークロードファクトリログインに関連付けます。["サポートに登録する方法について説明します"](#)です。

手順

1. Workload Factory Consoleの右上で、*[ヘルプ]>[サポート]*を選択します。

このオプションを選択すると、BlueXPコンソールの新しいブラウザタブが開き、サポートダッシュボードがロードされます。

2. **[Resources]**ページで、**[Technical Support]**で次のいずれかのオプションを選択します。

- a. 電話で誰かと話をしたい場合は、*[電話]*を選択します。netapp.comのページに移動し、電話番号が表示されます。

- b. **[ケースの作成]***を選択して、NetAppサポートスペシャリストとのチケットをオープンします。


- * Service : Workload Factory *を選択します。

- ケース優先度：ケースの優先度を選択します。優先度は、[低]、[中]、[高]、[クリティカル]のいずれかになります。

これらの優先度の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスポインタを合わせます。

- *事象の説明*：実行したエラーメッセージやトラブルシューティング手順など、問題の詳細な概要を入力します。
- その他のメールアドレス：この問題を他のユーザーに知らせる場合は、追加のメールアドレスを入力します。
- 添付ファイル（オプション）：一度に1つずつ、最大5つの添付ファイルをアップロードできます。


添付ファイルはファイルあたり25 MBに制限されています。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、およびcsv。

ntapitdemo 

NetApp Support Site Account

Service Working Environment


Select Select

Case Priority 


Low - General guidance



Issue Description

Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.

Additional Email Addresses (Optional) 

Type here

Attachment (Optional) Upload 

No files selected  

終了後

ポップアップにサポートケース番号が表示されます。ネットアップのサポート担当者がケースを確認し、すぐに対応させていただきます。

サポートケースの履歴を確認するには、*[設定]>[タイムライン]*を選択し、「サポートケースの作成」というアクションを検索します。右端のボタンをクリックすると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

"選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません"

このエラーは、NSSアカウントとそれに関連付けられているレコードの会社が、BlueXPアカウントのシリアル番号(例960xxxx) または動作環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用して、サポートを受けることができます。

- 製品内のチャットを使用します
- テクニカル以外のケースを <https://mysupport.netapp.com/site/help>

サポートケースの管理（プレビュー）

アクティブなサポートケースと解決済みのサポートケースは、BlueXPから直接表示および管理できます。NSSアカウントと会社に関連付けられたケースを管理できます。

ケース管理はプレビューとして使用できます。今後のリリースでは、この点をさらに改良し、機能を強化する予定です。製品内のチャットでご意見をお寄せください。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の2つのビューがあります。
 - 左側のビューには、指定したユーザNSSアカウントによって過去3カ月間にオープンされたケースの総数が表示されます。
 - 右側のビューには、ユーザのNSSアカウントに基づいて、過去3カ月間にオープンしたケースの総数が会社レベルで表示されます。

テーブルの結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 目的の列を追加または削除したり、[優先度]や[ステータス]などの列の内容をフィルタリングしたりできます。他の列には、並べ替え機能だけがあります。

詳細については、以下の手順を参照してください。

- ケースごとに、ケースノートを更新したり、ステータスが「Closed」または「Pending Closed」でないケースをクローズしたりすることができます。

手順

1. Workload Factory Consoleの右上で、*[ヘルプ]>[サポート]*を選択します。

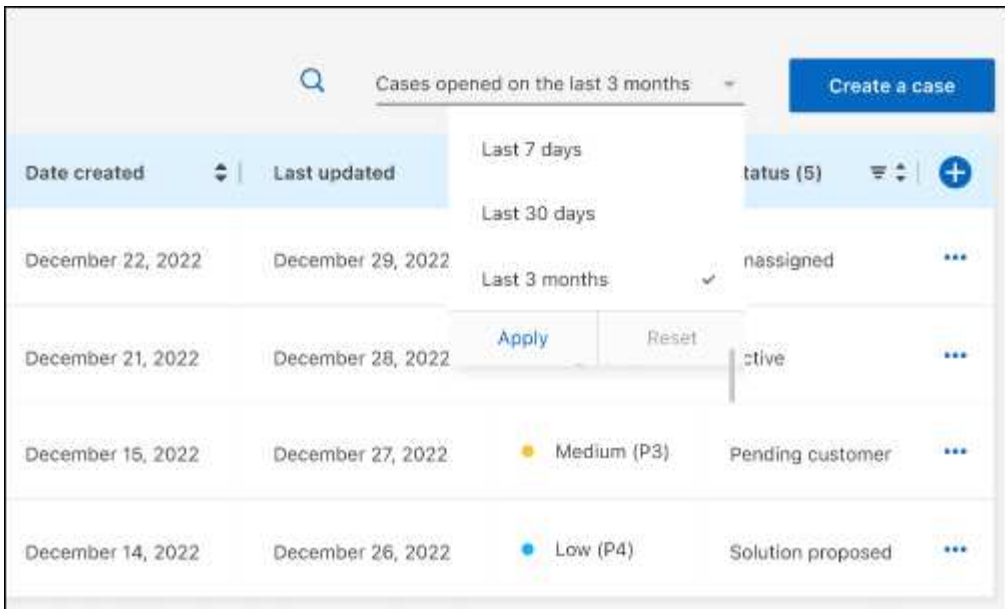
このオプションを選択すると、BlueXPコンソールの新しいブラウザタブが開き、サポートダッシュボードがロードされます。

2. [ケース管理]*を選択し、プロンプトが表示されたらNSSアカウントをBlueXPに追加します。

ケース管理*ページには、BlueXPユーザアカウントに関連付けられたNSSアカウントに関連するオープンケースが表示されます。これは、*NSS管理*ページの上部に表示されるNSSアカウントと同じです。

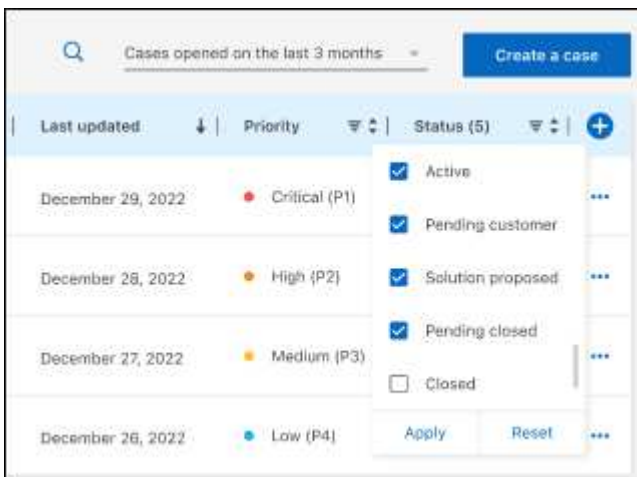
3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。

- [Organization's Cases]*で[View]*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
- 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して、日付範囲を変更します。




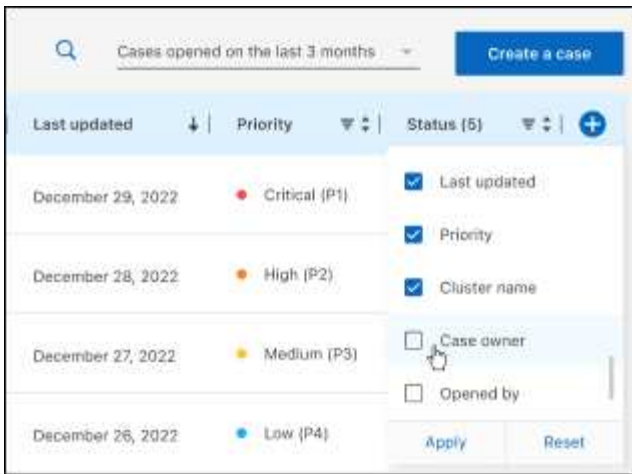
ページのテーブルの上にあるオプションのスクリーンショット。正確な日付範囲、または過去7日、30日、または3か月を選択できます。"]

- 列の内容をフィルタリングします。



列のフィルタオプションのスクリーンショット。[Active]や[Closed]など、特定のステータスに一致するケースを除外できます。"]

- テーブルに表示される列を変更するには、を選択し 、表示する列を選択します。

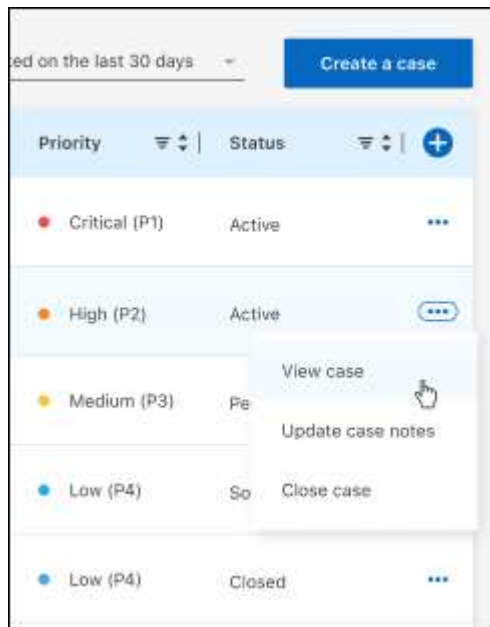


4. 使用可能なオプションのいずれかを選択して、既存のケースを管理し…ます。

- ケースの表示: 特定のケースの詳細を表示します。
- ケースノートの更新: 問題の詳細を入力するか、*ファイルのアップロード*を選択して最大5つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルあたり25 MBに制限されています。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、およびcsv。

- ケースをクローズ: ケースをクローズする理由の詳細を入力し、*ケースをクローズ*を選択します。



BlueXP Workload Factory for Buildersに関する法的通知

法的通知では、著作権に関する声明、商標、特許などにアクセスできます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、およびNetAppの商標ページに記載されているマークは、NetApp、Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

NetAppが所有する特許の最新リストは、次のサイトで参照できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシーポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、ネットアップソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が記載されています。

["BlueXP ワークロードファクトリ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。